

車両管理のDXで、業務効率と安心を両立 「見える化」で、車両管理はもっと強く、もっと自由に。

1. 事業者の概要

事業所数及び車両台数	株式会社アマカン
輸送品目	食品、医薬品、衣料品、印刷物
運行形態	24時間スポット対応軽貨物、2t、大型輸送。関東一円食品定期配送。

2. システム導入の経緯

- ◆休車中の車両ではあったが車検切れの車両が存在していることが発覚した。
- ◆Excelでの属人的な管理体制により、担当者以外が車両状況を把握できない状況を変えたかった。
- ◆車両情報（車検証、燃料、修理、ETC）をデータで一元管理したい。
- ◆修理金額等の細かい明細を年別、月別で車両ごとに分かりやすく可視化したい。
- ◆毎月変動する燃料費計算等、手間のかかる作業を簡略化したい。

3. システム概要

◆車両管理機能

◆車両情報の一元管理と自動連携

車台番号とナンバープレート入力だけで、車検証情報や免許区分が国交省から自動で取り込まれます。修理履歴、金融情報、ETC利用履歴、乗車ドライバー情報も全て車両に紐づけられ、一元管理できます。多数の車両はCSVで一括登録が可能です。

車検切れアラートの登録方法

車検切れアラートの登録方法

車検入力

まとめて登録

登録打刻の車種は以下の通り、車台番号の入力をお願いします。

例) 東〔41〕7654321車 → 417654321 ※太字部のみを入力

※お困りの方は担当営業までご連絡ください。

1	車台番号	ナンバープレート	社内管理名
	社内管理1	社内管理2	社内管理3

+ 追加する

登録する

車台番号

ナンバープレート

この2つを
コピー＆ペースト
するだけ

もちろんテンプレートでまとめて一括登録もOK！

車両情報が更新されれば、自動で運SOULの情報も更新されるので、更新がもれていて車検切れのままになってしまった、ということも防ぐことができます。

▲修理費・給油費・ETC費をはじめ、保険料までをも網羅して、一括で表示・管理できる▲

▼年月車別で金額の推移や詳細を把握することができるので、季節変動なども一目で把握。

令和07（2025）年 過去 5 年分 利用金額：¥184,921,197 給油金額照会画面

ナンバープレート 検索 ☒ 既済済の車載を表示 ☒ 修理のない車載を表示

令和07（2025）年 ¥20,548,687 3月 ¥6,200,547 入賞000か1234 ¥400,373

「大宮 000か 1234」の修理一覧

日付	修理工場	修理概要	金額
14日	うんソウル車両整備株式会社	一般車両整備	¥139,447
14日	うんソウル車両整備株式会社	一般車両整備	¥260,926

修理 給油 ETC

車両別・期間別に原価照会・分析

「いつ」「どこで」「誰が」
「何に」「何を」「いくら」「支払った」「稼いだ」

“どの車両がいつ給油した”や
“何を修理して幾らだった”まで細かく表示可能

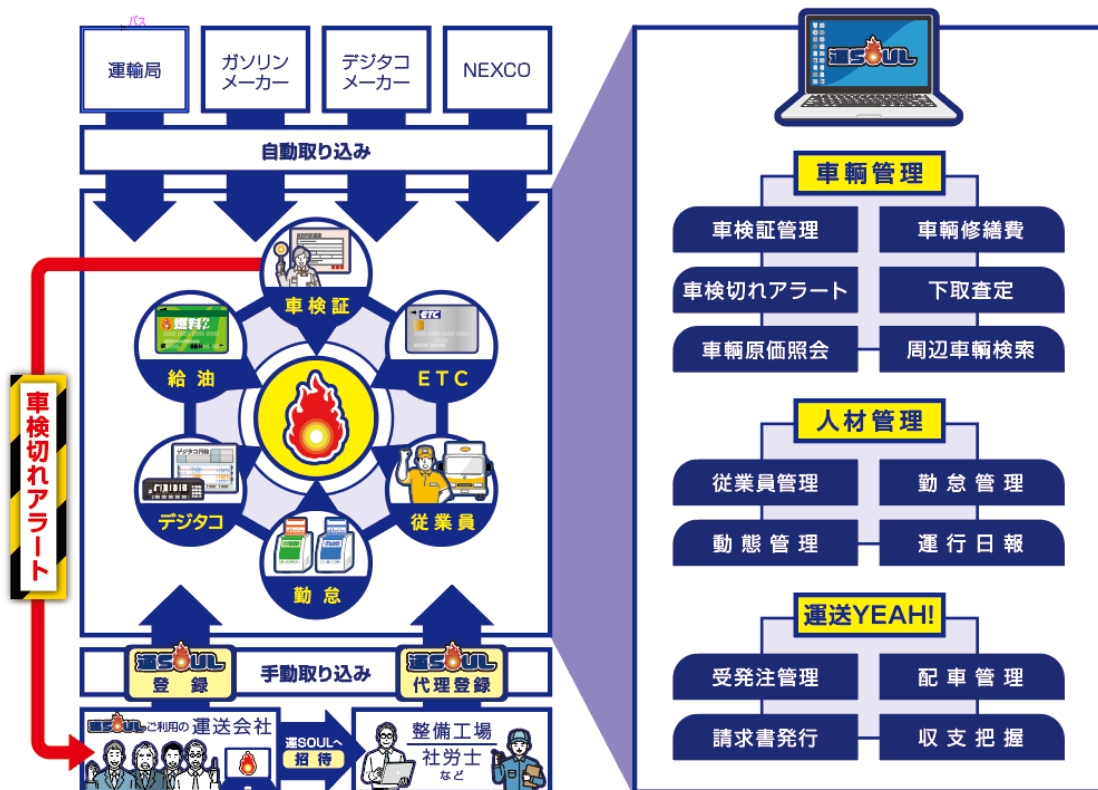
▼修理履歴の詳細情報では、詳細情報を元に、ディーラーや修理会社との交渉に利用したり、車両の売却や購入目安にも役立つ。

合計金額 ¥13,798,197		メンテナンス詳細			
条件クリア	実施日: 令和07（2025）年03月01日～令和07（2025）年06月05日	数量	単価	金額	工賃
該当件数: 67件 ☐ サンプルを表示する		***エアコン廻り点検***	1	¥0	¥0
		コンデンサーASSY取替、分解	1	¥0	¥0
		コア交換、高圧ホース交換	1	¥0	¥0
		真空引きガスチャージ及び	1	¥0	¥0
		フィルター・エバポレータ清掃	1	¥0	¥24,000
		クーラガス(点検分込)	3	¥800	¥2,400
			0	¥0	¥0
		メンテナンス箇所や内容を絞り込み 同じ箇所の修理が続くなどの違和感をキャッチ			合計: ¥63,294

実施日	車種番号	関係先名称	メンテナンス	金額
令和07（2025）年06月04日	大宮 000 う 4192	株式会社うんそる	修理	¥
令和07（2025）年06月03日	大宮 012 ん 4192	株式会社環境メンテナンス	修理	¥
令和07（2025）年05月28日	大宮 345 そ 4192		一般車両整備	
令和07（2025）年04月30日	立立 456 う 9999		レンタカー	
令和07（2025）年04月29日	大宮 789 る 4192	うんソウル整備株式会社	一般車両整備	¥24,750

◆その他の機能

データの自動連携で事務工数の削減を実現し、データ活用することで経営改善の一手となるDXツールとなっています。



4. コスト・期間

費用項目	金額
I. 運SOUL GOOD	月額費用 20,000円
消費税	2,000円
合計	22,000円

5. 導入効果

- ◆車両管理の自動化で事務作業の負担を軽減できた。
- ◆月別で車両ごとの詳細な明細を確認でき、燃費の悪い車両特定やメンテナンス最適化等具体的な改善策を見つけやすくなった。
- ◆車検アラート機能で、期日忘れの心配が無くなった。
- ◆燃料費等自動計算され分かりやすく表になっているため、複雑な集計から解放された。
- ◆車両情報の一元管理ができたことで、荷主への情報提供がスムーズになり、日々の事務工数削減につながった。
- ◆修理費の減価償却管理によりコストの見える化ができ、売却のタイミングが計れるようになった。

6. 成功のポイント

- ◆属人的な管理体制のリスクを周知、理解したことで、導入に向けて前向きに取り組むことができた。
- ◆車両費や燃料費のコストが見えにくいという課題に対し、その解決策として導入を決定し、推進に至った。
- ◆荷主からの要望や事故発生時、サイズ確認といった際に車検証を「引っ張り出す」手間があり、デジタル化による効率化を求めたこと。

7. DX推進マトリクス評価・解説

この取り組みは、第2象限「データ活用による業務最適化（デジタルイゼーション）」への移行を、車両管理という特定の業務領域において成功させた好事例と評価できます。「車検切れ車両の存在」「Excelによる属人的な管理」といった経営課題に対し、デジタルツールを導入し、データの一元管理と活用によって業務効率化とコスト管理を両立させています。

【1】 業務効率	【2】 業務最適
【3】 基盤構築	【4】 競争優位

「守りのDX」の徹底と成果

- ・ 属人化解消とリスク回避: 車両情報管理をデジタル化することで、担当者以外でも車両状況を把握できるようになり、車検切れや点検漏れのリスクを根本から解消しました。
- ・ コストの可視化と改善: 費用の見える化という課題に対し、給油、ETC、修理履歴といった車両ごとのコストを自動で集計・可視化しています。これにより、燃費の悪い車両の特定やメンテナンスの最適化、さらには車両の売却タイミングの判断といった具体的な改善策を見つけ出すことが可能になりました。
- ・ 事務工数の削減: 車検証情報の自動連携やアラート通知機能は、管理者の事務作業を大幅に削減し、より戦略的な業務に集中できる時間を生み出しました。

「データ活用」の萌芽

- ・ 車両にかかるコストを年別・月別で「見える化」し、季節変動などを把握している点は、単なるデータ管理を超えた「データ活用」の始まりを示しています。これは、経営改善に向けた重要なステップです。

提言1: 第2象限「データ活用による業務最適化」のさらなる深化

- ・ 運行データとの統合分析
現在は車両にかかるコストを管理していますが、今後はデジタコや配車システムなどから得られる運行データ（走行距離、運行時間、積載率など）と車両コストデータを統合して分析しましょう。
- ・ ドライバーへのフィードバック
車両ごとの燃費データやメンテナンス履歴をドライバーと共有し、安全運転やエコドライブの啓蒙に活用しましょう。これにより、ドライバーのコスト意識を高め、運行品質の向上にも繋がります。

提言2: 第3象限「未来志向のデジタル基盤構築」と第4象限「デジタルを核とした競争優位性の確立」への挑戦

- ・ DXビジョンの拡大と次世代リーダー育成
「車両管理のデジタル化」という成功体験を、他の業務領域（運行管理、点呼、荷主との連携など）にも横展開するための、全社的なDXビジョンを策定しましょう。
- ・ デジタルツールを積極的に活用している従業員を「DX推進のキーパーソン」として指名し、今後のDXプロジェクトをリードできる人材へと育成しましょう。
- ・ 顧客連携の深化と高付加価値サービスの創出
輸送品目（食品、医薬品）の特性を活かし、車両のリアルタイム位置情報と積載状況を組み合わせ、配送遅延リスクの通知や、荷主の在庫管理を支援するサービスを提供することで、競争優位性を確立しましょう。